科目名称	在宅看護論実習	学年学期	単位数	時間数
		第 3 学年 前期～後期	2	90
担当教員	宇都宮　千都	授業に関わる 実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

健康上の課題を持ちながら地域で生活する対象とその家族を総合的に理解し、健康上の課題を解決するための基礎的知識・技術・態度を習得する。

【2】 学習目標

1. 地域で生活する療養者とその家族を理解できる。
2. 療養者と家族の問題点を把握し、その人らしさ・その家庭らしさを大切にした看護過程を理解できる。
3. 訪問看護の特徴と方法を理解し、その人らしさ・その家庭らしさを尊重した援助ができる。
4. 保健・医療・福祉の連携および看護の継続性が理解できる。
5. 実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。

【3】 第 1 看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1 ～ 3 週 目	1. 地域で生活する療養者とその家族を理解できる。 2. その人らしさ・その家庭らしさを大切にした看護過程を理解できる。 3. 療養者や家族とコミュニケーションをとり、療養者の意思に沿った看護援助について考えることができる。 4. 看護の継続性について説明できる。 5. 療養生活を支える他機関、他職種との連携について理解できる。 6. 在宅ケアチーム内での訪問看護師の役割を考えることができる。 7. 実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。	臨地実習

【5】 評価方法

在宅看護論実習評価基準に基づいて、実習目標の達成度、提出物、実習態度、出席率により総合的に行う。

【6】 教科書

なし

【7】 参考書

実習要綱、授業で配布した資料
角田直枝編　よく分かる在宅看護　学研メディカル秀潤社　2016 年
押川眞喜子監　写真でわかる訪問看護　改訂第2版　インターメディカ　2016 年

【8】 受講生へのメッセージ

地域に出て、在宅で療養しながら生活している対象とその家族に対する看護を学ぶ実習です。実習要綱、授業で配布した資料で事前学習・事後学習を必ず行って実習に臨んでください。